

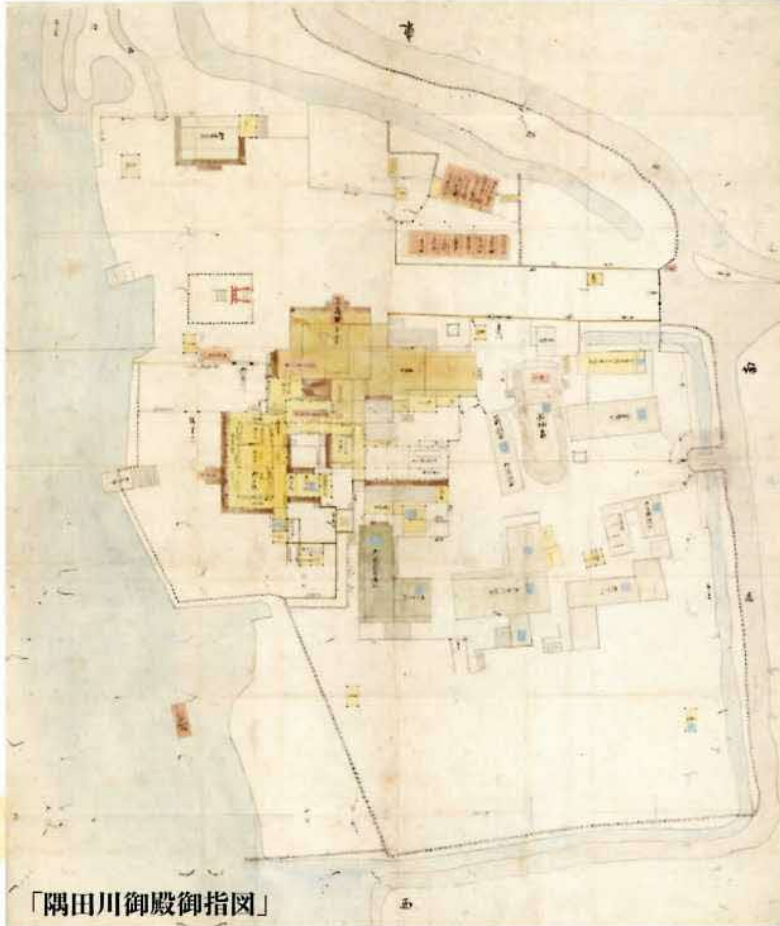
企画展

大熊喜邦旧蔵

隅田川御殿三図と  
隅田堤の植桜



「隅田川御殿之図 原図」



「隅田川御殿御指図」



東京都公文書館蔵「隅田川御殿之図」(展示期間3月16日(土)~3月31日(日)を予定、以降はパネル展示)

令和6年(2024)3月16日(土)~5月19日(日)

会場: 3階展示室

休館日: 月曜日・第4火曜日

(土・日・祝日は開館。祝日に当たる時は翌日休館)

時間: 午前9時~午後5時 \* 入館は午後4時半まで

入館料: 個人100円/団体(20名以上) 80円

※中学生以下と身体障害者手帳・愛の手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方及び介助の方は無料

すみだ郷土文化資料館

墨田区向島2-3-5

TEL 03(5619)7034 / FAX 03(3625)3431

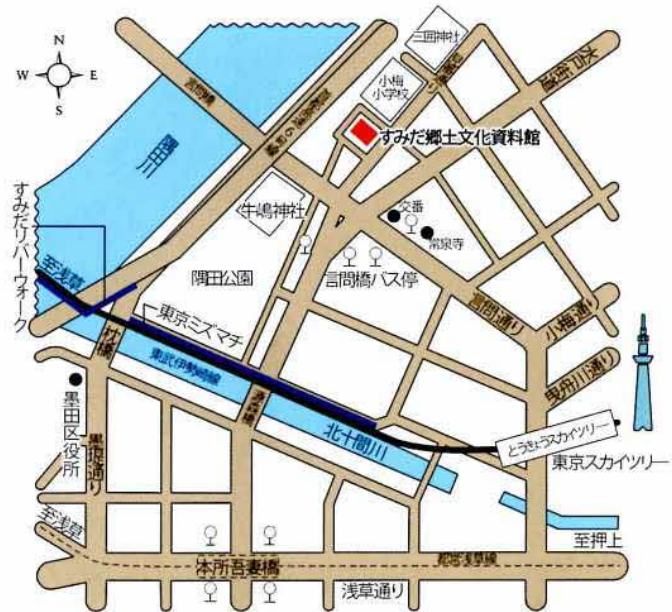
すみだ  
郷土文化  
資料館  
SUMIDA  
HERITAGE  
MUSEUM

# 大熊喜邦旧蔵 隅田川御殿三図と隅田堤の植桜

おおくまよしくに  
大熊喜邦（1877～1952）は、帝国大学工科大学建築学科を卒業し、近代建築・日本建築研究で活躍した著名な学者です。氏が収集した史料のなかに、「隅田川御殿之図」があり、昭和4年（1929）刊行の『東京市史稿 遊園篇』第1巻に収載されています。現在、東京都公文書館が所蔵する「隅田川御殿之図」は、一昨年当館が大熊家のご子孫から寄贈を受けた同名図の精巧な写しでした。もとは、隅田堤の植桜に尽力した隅田村名主坂田氏が所蔵しており、これを喜邦は入手したのです。また、「隅田川御殿之図」の御殿部分の描写は、貞享2年（1685）に五代将軍綱吉の御成を想定した際の指図（設計図）を模したもので、「隅田川御殿御指図」と称されています。今回の企画展では、この「隅田川御殿三図」を初めて一堂に会して展示を行います。

また、同寄贈資料には、榎本武揚篆額・濱村大澗撰文「墨堤植桜之碑」（向島五丁目1番地）の碑文考察過程がわかる書状が遺されていました。後に『風俗画報』編集長を務める明治期ジャーナリズムの寵児である若き日の山下重民が、大澗の諮問に答えています。これにより、かなり正確に隅田堤の植桜の過程が明らかにできそうです。

今回の企画展では、これらの新出史料を中心に据えながら、館蔵の浮世絵と一緒に川、舟、堤と桜が織りなす春の隅田堤の情景を紹介していきます。



## すみだ郷土文化資料館

〒131-0033 東京都墨田区向島 2-3-5

TEL 03(5619) 7034 / FAX 03(3625) 3431

- 都営浅草線「本所吾妻橋」駅下車、徒歩8分
- 東武線「とうきょうスカイツリー」駅下車、徒歩7分
- 都営バス「言問橋」停留所下車、徒歩2分  
 (草39：金町駅～浅草寿町  
 業10：新橋～とうきょうスカイツリー駅  
 上26：亀戸駅～上野公園)
- 都営バス「本所吾妻橋」停留所下車、徒歩8分  
 (都08：錦糸町駅～日暮里駅  
 門33：豊海水産埠頭～亀戸駅  
 上23：平井駅～上野松坂屋)

拓本「墨堤植桜之碑」